

1 年学年通信

2024. 1. 31 文責：磯矢
No.11 (学年末テスト号)



今年度3回目の定期テストがあります

2月19日～21日は、1年生最後の定期テストです。今まで2回の定期テストを経験してきて、そのつど反省をしてきました。その反省を生かして、今回も取り組んでもらいたいと思います。テストは、結果を出すことが大事ですが、結果を出すために何をするかということの方がもっと大切です。授業をしっかり受ける、家でワークなどを使って予習・復習をする、分からないところは先生に聞いて理解をする、問題を繰り返しやってみるといったことができますか？

ワークをすることがテスト勉強ではありません。ワークをすることを通して、自分が弱い部分を見つけ、そこを重点的に勉強して、分かるようにしていくことがテスト勉強です。何も考えず解答を丸写ししたり、テスト後に提出するために居残りをしたりするのは、時間と労力とお金の無駄です。テスト前に計画的に取り組み、テストの結果に出るようにしていきましょう。

ワークの使い方（例）

- ①「基本」は授業した日に取り組み、語句などの確認をする。
- ②「まとめ」や「応用」はテスト前の確認問題として取り組む。
- ③できなかったところをもう一度やり直す。
- ④テスト当日は、ワークを提出するだけ。

※全然分からなくて、ワークの回答欄が真っ赤でもかまいません。1度は問題を読んで、自分なりの答えを考えて書くようにしていきましょう。



あとは当日のテストに全力を注ぐだけです。よく問題を読んで、自信を持って正解を解答用紙に記入しましょう。準備がしっかりできていれば、不安はありませんよ。

落ち着いた生活をしよう



1年生も残すところ2月・3月だけとなり、あと2ヵ月で2年生になります。同時に新入生を迎え、上級生となります。この1年間で、中学生としての言動が身についてきた人もいますが、いまだに休み時間には追いかけてこのようなことをしたり、お互いにちょっかいをかけあったりする様子も見られます。

中学校生活の3年間は、社会へ出ていく準備期間でもあります。社会に出たときに、落ち着いた言動ができるようにしていきたいですね。また、2年生の9月には職場体験学習もあります。礼儀正しい言葉づかいや行動ができるようにしていきたいですね。

もうすぐ
中学2年生だよ…

